

信州ITバレー構想

Society5.0時代を共創するIT人材・IT産業の集積地「信州」

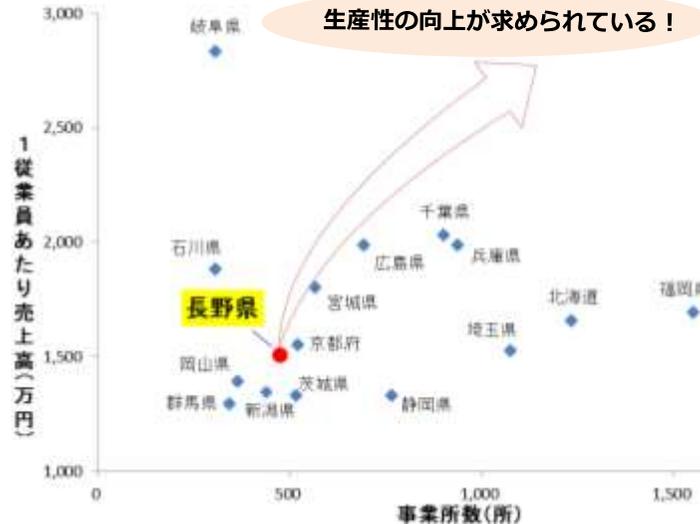
～IT技術で拓く長野県産業の新時代～

長野県産業イノベーション推進協議会

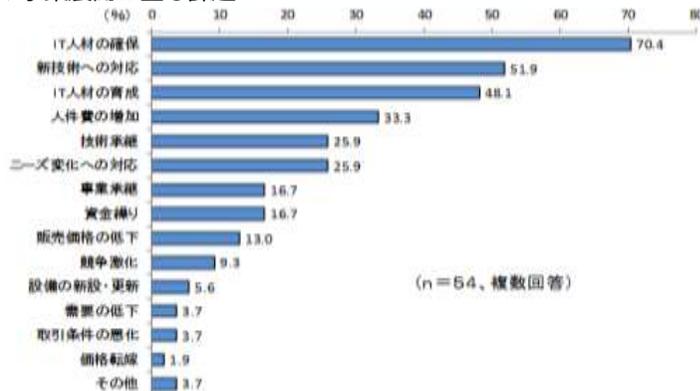
長野県IT産業の現状

- ・長野市、松本市を中心にIT産業が集積
- ・事業所数:474カ所 全国15位
- ・年間売上高1,507万円(1従業員当たり)全国20位

◆従業員あたり売上高全国比較



◆事業展開の主な課題



推進目標

IT産業の売上高を首都圏レベルに!

1従業員あたり売上高
1,507万円(2017年) → 2,000万円(2025年)

AI・IoT等導入率を5割に!

9.4%(2018年度) → 50.0%(2021年度)

<参考指標> IT事業所数の増加

474カ所(2017年) → 700カ所(2025年)

信州ITバレー構想のめざすもの

- 快適な住環境と暮らしやすさ、首都圏・中京圏・北越地域との結節点に位置する本県の地理的メリットを活かして、Society 5.0時代のデジタル社会を担うIT人材・IT企業を集積
- 産学官が連携しITビジネスの創出を促すエコシステムを構築し、本県産業の中核を担うものづくり産業等全ての産業のDX推進や高度化を加速

主な取組(産学官の力を結集した取組)

※現在実施されている取組及び想定される取組を記載

善光寺門前や松本城下、茅野八ヶ岳山麓などに展開するIT企業と大学、公設試等支援機関によるコンソーシアムを拠点に、IT人材を集積させ産業のDX推進や革新的なITビジネス創出を促進

若者をはじめ多様なIT人材の育成・誘致・定着

■IT人材の誘致・定着の促進

- ・リフトレワークや移住施策と連携した人材誘致と定着【県・市町村】
- ・IT企業へのインターンシップ拡大【産・学・県】
- ・留学生と県内IT企業との出会いの場創出【産・学・県】

■IT人材の育成支援

- ・トップレベルIT企業を招へいした寄附講座開講【産・学・県】
- ・公立諏訪東京理科大学や諏訪圏ものづくり推進機構、県が連携したリフト講座の実施【産・学・県】
- ・海外工科大学等の学生やIT留学生との交流の場創出【産・学・県】
- ・世界的研究機関・信州大学と県との技術プラットフォーム等連携【産・学・県】

共創による革新的なITビジネスの創出・誘発

■ITビジネスを活性化させるエコシステム(共創の場)の形成

- ・善光寺門前イノベーションタウン構想(ZIT構想)プラットフォームの推進【産・県】
- ・地域課題解決やSDGs推進につながるIT活用の促進【産・学・県・市町村】
- ・米国シリコンバレーの企業と県内企業とのマッチング支援【産・県】

■ITビジネス創業支援

- ・ワーキング等を活用した創業支援(33GAKU、ワケホ八ヶ岳、スバ等)【産・県・市町村】
- ・中小企業のIT活用推進のため商工団体へIT専門家配置【産・県】

■IT企業の立地環境の整備

- ・ICT産業等立地助成金の拡充【県】
- ・長野県IoT推進プラットフォームによるIoT等利活用促進【県】

情報発信とプロモーション

※現在実施されている取組及び想定される取組を記載

- 産学官連携による効果的な情報発信 ・県内大学と連携した海外研究所等との交流
- 都市圏IT人材・IT企業への発信 ・ITトップランナーをアンバサダーに委嘱 ・ITビジネスフォーラムの開催
- 海外への効果的な発信 ・ワールドIT人材フォーラム(仮称)の開催

推進体制

- 産学官連携によるコレクティブ・インパクト(協働効果)を創出する推進体制として

「信州ITバレー構想推進協議会(ネットワーク)(仮称)」を設置(県テクノ財団内)

<構成> ※団体は想定、順不同

県、県経営者協会、県情報サービス振興協会、県ITコーディネータ協議会、長野ITコワーキングプラットフォーム、信州大学、公立諏訪東京理科大学、長野工業高等専門学校、県テクノ財団、県中小企業振興センター、AI・IoT等先端技術利活用支援拠点、県工業技術総合センター、AI活用/IoTプラットフォーム事業化・開発センター、信越総合通信局、関東経済産業局、長野市、松本市、茅野市、塩尻市、伊那市など 約30機関